作成日：2025 年　5 月　18 日

研究協力のお願い

昭和医科大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

陷凹型大腸病変の臨床病理学的特徴に関する後方視的研究
１．研究の対象および研究対象期間 2001 年 4 月から 2022 年 7 月に当施設にて大腸内視鏡検査を受けられた方を対象にしております。
２．研究目的・方法 近年、本邦における大腸癌患者は増加傾向にあり、大腸癌の適切な治療と予防は重要な課題です。大腸癌による死亡率低下のためには癌が小さく、浅い（浸潤度が低い）うちに病変を発見し、治療をすることが重要です。早期大腸癌はその形態によっていくつかの種類に分類されますが、我々の過去の経験からは早期大腸癌の中でも特に陷凹型早期大腸癌（凹んだ形態の病変）は悪性度が高いと予想しています。今回の研究では過去に当院で大腸内視鏡検査を実施した患者様の診療情報（下記に記載）を比較し、陷凹型早期大腸癌がどのような特徴をもって発生しやすいかを検討します。
３．研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 3 月 31 日まで
４．研究に用いる試料・情報の種類 提供していただく資料は、切除した大腸腫瘍の内視鏡所見をはじめとする診療情報です。具体的には、年齢、性別、治療内容、内視鏡所見、病理組織診断結果などを調査項目とさせていただきます。 個人のプライバシーの情報を保護することは、法律で決められた医師の義務です。他人に個人の情報が漏れないように、取り扱いを厳重に行っています。
５．外部への試料・情報の提供 該当なし

６．研究組織

研究責任者　　昭和医科大学横浜市北部病院 消化器内科　　宮田　裕輝

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：宮田　裕輝　　職名：助教(医科)
所属：昭和医科大学横浜市北部病院　消化器センター
住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話番号：045-949-7000（代表）、内線：7623（消化器センター）